

季刊
夏号



博物館だより

FUKUSHIMA MUSEUM
QUARTERLY

URL <https://general-museum.fcs.ed.jp/>

夏の企画展

133

福島復興祈念展

興福寺と会津

徳一がつかない西と東

福島県立博物館



四天王立像 増長天 勝常寺 重要文化財 撮影：藤森武

四天王立像 広目天 興福寺（東金堂所在）国宝 ©飛鳥園

夏の企画展

福島復興祈念展

興福寺と会津

徳一がつかないだ西と東

興福寺と会津——。このゆかりは平安時代初期にさかのぼります。奈良・興福寺から会津の地を訪れた高僧・徳一がもたらした信仰・文物をもとに、会津の仏教文化は「仏都会津」と称されるほど花開きました。本展は、東日本大震災復興によせる興福寺の思いを受けて実現。徳一が生きた時代の仏像をはじめ、国宝3件、国指定重要文化財8件を含む興福寺の寺宝の数々をご紹介します。あわせて、徳一を開祖とする磐梯町・慧日寺伝来の品々など、徳一ゆかりの会津の寺院の寺宝と会津の仏教美術をご紹介します。徳一が会津に開いた道をたどります。興福寺は度重なる戦乱や災害によって大きな被害を受けながらも復興をなしとげ、各時代の新たな文化を築いてきました。長い時を守り伝えられ、人々の思いが託されてきた祈りのかたち。ぜひご覧ください。



広目天
四天王立像 興福寺（東金堂所在）国宝



多聞天



維摩居士坐像 興福寺 国宝



法相六祖坐像 常騰 興福寺 国宝

興福寺所蔵作品画像©飛鳥園

興福寺の寺宝

徳一時代とそれから

主な展示資料

- 四天王立像 広目天・多聞天
- 平安時代（9世紀）興福寺（東金堂所在）国宝
- 地蔵菩薩立像
- 平安時代（10世紀）興福寺 重要文化財
- 法相六祖坐像 善珠・常騰
- 康慶作 文治5年（1189）興福寺 国宝
- 維摩居士坐像
- 定慶作 建久7年（1196）興福寺 国宝
- ※7月6日（土）〜7月15日（月）祝のみ展示
- 慈恩大師画像（大乘院伝来）
- 平安時代（12世紀）興福寺 重要文化財 ※前期
- 成唯識論
- 平安時代（12世紀）興福寺 重要文化財
- ※前期：巻一 後期：巻四

徳一と会津

主な展示資料

- 四天王立像 増長天・持国天
平安時代（9世紀）勝常寺 重要文化財
- 吉祥天立像
平安時代（9世紀）個人蔵 重要文化財
- 十一面観音菩薩立像
平安時代（12世紀）明光寺 福島県指定重要文化財
- 恵日寺絵図
室町時代（14～15世紀）恵日寺 福島県指定重要文化財
- 仏涅槃図
応永15年（1408）観音寺 福島県指定重要文化財
- 白銅三鈷杵
奈良時代（8世紀）恵日寺 重要文化財

イベント

会期中、興福寺の多川俊映貫首による講演や、仏教伝統の調べである声明の公演、解説会、夜の鑑賞会、ワークショップを開催いたします。詳細はP8のインフォメーションをご覧ください。



持国天

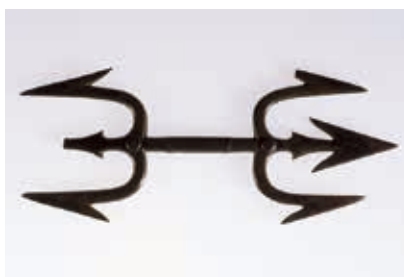


増長天

四天王立像 勝常寺 重要文化財 撮影：藤森武



吉祥天立像 個人蔵 重要文化財



白銅三鈷杵 恵日寺 重要文化財

会期：7月6日(土)～8月18日(日)
会期中展示替えを行います。

前期：7月6日(土)～7月28日(日)
後期：7月30日(火)～8月18日(日)
休館日：7月8日(月)・16日(火)・22日(月)・29日(月)

8月5日(月)

会場：企画展示室・部門展示室（歴史・美術）
観覧時間：9時30分～17時00分（入館は16時30分まで）
観覧料：一般・大学生1,300円（1,000円）
高校生800円（640円）、
中学生以下無料 ※（ ）は20名以上の団体および前売り料金

主催：興福寺と会津展実行委員会（福島民友新聞社・福島中央テレビ・福島県立博物館）
特別協力：法相宗大本山興福寺

特別協賛：シグマ

協賛：リオン・ドルコーポレーション、会津信用金庫、I&Iグループ、会津土建、秋山ユアビス建設、大和川酒造店

共催：磐梯町、会津若松市、喜多方市、西会津町、会津坂下町、湯川村、柳津町、会津美里町、磐梯山慧日寺資料館、会津若松観光ビューロー

協力：飛鳥園、藤森武、極上の会津プロジェクト協議会、会津の文化×地域振興プロジェクト協議会、日本通運、後援：福島県、福島県教育委員会、福島県仏教会、会津若松商工会議所、下郷町、松枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、猪苗代町、三島町、金山町、昭和村、読売新聞東京本社福島支局、朝日新聞福島総局

展覧会オフィシャルサイト <https://koufukuji-aizu.com/>

ト
ポ
レ
イ
ン
ト

春の企画展
とりもどすきずな つながるみらい

会 期：4月27日(土)～6月9日(日)
主 催：福島県立博物館

2019年度の春の企画展「とりもどすきずな つながるみらい」では、2011年に発生した東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故後に福島県内で展開された7つのアートプロジェクトをご紹介します。アートプロジェクトのスタートから現在までの年表とともに、それぞれの活動で生まれた作品や変遷をご覧ください。

会期中には、3つのトークイベントを開催。アートプロジェクトを主宰したアーティストや代表者から、立ち上げた経緯や思い、これから目指す姿などをお聞きすることで、あらためてそれぞれの活動の意義を知ることができました。

4つのワークショップでは、制作をすることで多くの方々にアートプロジェクトの現在を繋いでいただけました。5月3日に行った吉田重信さんの「光の鳥を飾ろう」では光の鳥のポストカードに夢やメッセージを書いて展示室にご自分の手で展示していただきました。

展示をご覧いただいたお客様からは、「震災はテレビの中のものだったのが、テレビから出てきたのか。資料やデータだけでは分からない出来事の雰囲気を感じる事ができた気がした(東京都)」、「ひとつひとつが心にせまりました。地震と原発事故の二重の災害の



トークイベント+ワークショップ「HEART MARK♥VIEWING」



展示室の様子「流転」



展示室の様子「Daylily art Circus、他」



ワークショップ「光の鳥を飾ろう」



I am flower projectの体験コーナー



トークイベント「プロジェクトFUKUSHIMA! のこれまで、これから」



ワークショップ「福興ダルマをつくらう」

なかでアートが人にもたらした光はどれほどだったでしょうか。光もかげも包みかくさず見せながらも、人のチカラを感じました(新潟県)などのご感想をいただきました。

また、会津若松市に避難している大熊町立熊町小学校の児童のみなさんが展示を観覧した後「自分は小さかったからわからなかったけど、たくさんの方が福島を支援してくれていたことがわかった」と言ってくれたことは忘れられない出来事の一つです。

「流転」を主宰している写真家の中筋純さんは何度か会場に滞在して来場者と語り合う時間を持つてくださいました。直接お聞きするお話でより理解を深められたようです。

本展を通して、アートプロジェクトが人と人を繋ぎ、思いを届けてくれたことがあらためて感じられました。そして人を繋ぐ絆組みを表現により生み出すアーティストとアートの力を実感した展示ともなりました。

(美術分野・小林めぐみ)

部門展示室
新展示紹介

よみがえる会津大塚山古墳

会場：部門展示室 考古
観覧料：常設展観覧料

6月29日より、部門展示室 考古にて会津が誇る大古墳「会津大塚山古墳」のガイダンス展示が始まります。

会津若松市街地東部、一箕町の住宅地のなかに小高い山があります。その山の頂上にあるのが、国史跡「会津大塚山古墳」です。

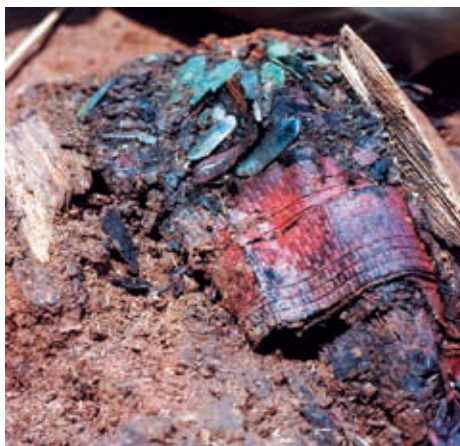
1964年に発掘調査が行われ、その成果は大きな衝撃を与えました。三角縁神獸鏡をはじめ、三葉環頭大刀、多数の武器、農耕具、装飾品など、これまで東北地方では見たことのない副葬品が発見されました。後に刊行された報告書では、古墳がつくられた年代は4世紀末と結論づけられました。発掘調査が行われた当時、東北の古墳時代は西日本に比べて数百年遅れて始まると考えられていました。



三葉環頭大刀



三角縁神獸鏡



銅鏡・取出土状況



三角縁神獸鏡出土状況



発掘された南棺と北棺

そのため、東北地方と西日本の古墳文化に大きな時間差がないことを実証したこの成果は、東北地方に対する歴史認識を根底から覆すものとなりました。その重要性から、1972年に国史跡に、1977年に出土遺物が一括して国重要文化財に指定されました。

この大きな衝撃を与えた出土品（会津若松市教育委員会蔵・当館寄託）がこのたび当館の部門展示室にすべて並び、いつでもご覧いただけるようになりました。

発掘調査時の様子、古墳の規模、どんな人物の墓だったのか。会津大塚山古墳についての概要はもちろんのこと、出土品についても、2014年から5カ年の保存修復事業の中で新たにわかったことを踏まえ、わかりやすくご紹介していきます。

展示を通し、改めて会津大塚山古墳の副葬品のすばらしさ、そして会津の歴史において重要な遺跡であることを感じていただければと思います。

また、開幕日となる6月29日（土）の午後には、学芸員による関連講座「会津大塚山古墳を考える」を行います。古墳についてだけでなく、出土品の注目ポイントもご紹介します。講座終了後に展示解説会もありますので、こちらもぜひご参加ください。

（考古分野・平澤慎）

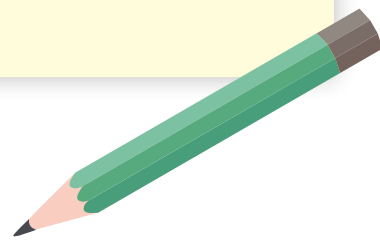


原恵理子 (美術分野担当)

このたび美術分野の学芸員となりました原恵理子と申します。突然ですが、皆さんが人生で一番最初に訪れた博物館はどこか覚えていらっしゃいますか？ …と話を振る時点でネタがばれる気がしますが、私が人生で初めて訪れた博物館がまさに福島県立博物館です。1986(昭和61)年の開館時、私は幼稚園児でちょうど会津若松市に住んでおりまして、当時のできたてぴかぴかの博物館で遊ばせてもらったのを今でもよく覚えています。

これまで美術・工芸の勉強をしてきて、日本国内外のいくつもの美術館や博物館に行ったことがありますが、自分にとっての“ファースト・ミュージアム”で学芸員として働かせていただけるとは、何とも有難いご縁を感じます。私は特に相馬地方の焼きものである相馬焼の研究をしてきましたが、今後はさらに福島県全体の美術・工芸について勉強して、福島のことなら世界で一番誰よりも詳しく知っている学芸員を目指して研鑽を積んでいきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

新任学芸員紹介



今年度より、福島県立博物館に赴任いたしました山本俊です。昨年度までは地理歴史科の教員として県立高等学校に勤めておりましたが、このたび考古分野の学芸員として勤めることになりました。よろしくお願いいたします。

さて、考古分野は発掘調査による遺跡や遺物から歴史を紐解いていく分野です。近年、福島県では発掘調査が数多くおこなわれ、その成果は目覚ましいものがあります。主に担当する古代(飛鳥・奈良～平安時代)についても、福島県域を含めた東北地方が、政治的に大きく変動した時代です。この変動のありようが、文献史料だけでなく、考古学の分野からも次々に明らかになってきています。このような研究成果を広く知っていただけるような、わかりやすい展示・解説に努めてまいりたいと考えております。

また、博物館ではお年寄りの方々から子どもさんまで、幅広い年代の方に利用していただけるようなイベントを企画しています。どうぞ、ご家族そろってご来館ください。



山本俊 (考古分野担当)

企画展予告

あにまるず ANIMAL x Zoo
—どうぶつの考古学

会期：9月7日(土)～11月17日(日)

会場：企画展示室

観覧料：企画展観覧料

どうぶつは好きですか？ あなたの周りにはどんなどうぶつがいますか？
人と動物。人も動物。ずっとずっと前からみんなケンメイに生きています。
動物たちは身近な存在です。そして人の暮らしにはいなくてはならない存在です。
太古の昔から、人は動物のいのちをもらいながら、あこがれやおそれのまなざし
も向けて生きてきました。

本展覧会では、縄文時代から古墳時代の骨や角の道具やアクセサリ・狩りの文
様・土や骨で作った動物の形、どうぶつのハニワなどの展示品からモノにこめられ
た意味を考えてみます。また、ふくしまの縄文人の骨を調べて分かったことも紹介
します。

人と動物のかかわりは時代を映すカガミです。
動物に生かされ、いやされ、動物を活かした私たちの祖先の世界に考古学から触
れてみたいと思います。

(考古分野：高橋満)



何に見える？縄文土器のふしぎな文様
(埼玉県加能里遺跡) 飯能市教育委員会蔵



はにわイヌ (本宮市天王壇古墳)
福島県重要文化財
本宮市歴史民俗資料館蔵

テーマ展予告

大須賀清光の
土津神社図・円蔵寺図屏風

会期：9月7日(土)～10月14日(月・祝)

会場：部門展示室 歴史美術

観覧料：常設展観覧料

大須賀清光(1809～75)は幕末
の若松城下で活躍した町絵師で、江戸時
代の若松の町並みをダイナミックに描い
た「若松城下絵図屏風」の作者として知
られています。平成28年に開催した企画
展「大須賀清光の屏風絵と番付」をきつ
かけに、同年、新たに大須賀清光の作品
「土津神社図・円蔵寺図屏風」が会津若
松市内の個人宅から発見され、当館に寄
贈されました。屏風は当初破れや傷みが
見られましたが、平成29年に出光文化福
祉財団の助成を受けて修復され、往時の
姿によみがえりました。

左隻に会津藩祖保科正之を祀る土津神
社(猪苗代町)を、右隻に参詣客でにぎ
わう円蔵寺(柳津町)とその門前を描い
た一双の屏風。大胆な構図をとりながら
細部もリアルに表現する、清光ならではの
手法が光ります。

円蔵寺図屏風は今回が初公開で、一双
揃ってご覧いただける初めての機会でも
あります。清光に導かれて、江戸時代の
会津の聖地を旅しませんか。

(歴史分野：阿部綾子)



大須賀清光筆 円蔵寺図屏風 当館蔵

information

企画展 企画展示室

福島復興祈念展

興福寺と会津―徳一がつないだ西と東―

7月6日(土)～8月18日(日)

料金：一般・大学生1300円、高校生800円、中学生以下無料

■公演(申込不要、無料、エントランスホール)

「声明の響き」～仏教伝統の調べ～」

7月6日(土)14時～15時

出演：新義真言聲明三宝会のみなさん

「福島の孔雀石でほとけさまを描こう」

7月14日(日)13時30分～15時30分

講師：猪瀬弘瑛、塚本麻衣子(当館学芸員)

■コンサート(申込不要、無料、エントランスホール)

「奏る音くギター・編鐘と篠笛・箏が奏でる 祈りのコンサート」

7月27日(土)16時～17時

出演：小馬崎達也氏、パンゲアのみなさん

■美術講座(申込不要、無料、講堂)

「興福寺と会津展 みどころ案内」

8月3日(土)13時30分～15時

講師：塚本麻衣子(当館学芸員)

■夜の仏像鑑賞会

(申込不要、要企画展チケット、企画展示室、歴史・美術)

7月6日(土)、13日(土)、20日(土)、27日(土)、

8月3日(土)、10日(土)、17日(土)17時30分～19時

※最終入場は18時30分まで、企画展以外はご覧いただけません。

解説会：各日17時30分～18時30分

講師：当館学芸員(7月20日は長岡龍作氏、東北大学教

授)による特別解説

■展示解説会(申込不要、要企画展チケット、企画展示室)

7月6日(土)、13日(土)、20日(土)、27日(土)、

28日(日)、8月3日(土)、4日(日)、10日(土)、

17日(土)、18日(土)①10時～11時、②13時30分～14

時30分(※7月6日、8月3日、4日は①のみ)

講師：当館学芸員(※7月6日、27日、28日、8月3日、

4日、17日、18日には興福寺僧侶のお話があります)

あじむねのANIMAL X Zoo ―ごっこごっこの考古学―

9月7日(土)～11月17日(日)

料金：一般・大学生700円、高校生以下無料

■記念講演会(申込不要、無料、講堂)

「骨から分かる縄文人の食生活」

9月14日(土)13時30分～15時

講師：米田穰氏(東京大学総合博物館)
■展示解説会(申込不要、要企画展チケット、企画展示室)
9月7日(土)、21日(土)13時30分～14時30分
講師：当館学芸員

テーマ展 部門展示室 常設展観覧料

大須賀清光の土津神社図・円蔵寺図屏風

部門展示室歴史・美術

9月7日(土)～10月14日(月・祝)

ポイント展 総合・部門展示室 常設展観覧料

型をつくる型からつくる

～7月10日(水)

会津の経塚―500年前のタイムカプセル

～8月18日(日)

松平容大夫人の白衣観音図

～8月30日(金)

暮らした麻

7月12日(金)～9月4日(水)

戦国武将の花押と印判②―蘆名盛氏

8月24日(土)～10月27日(日)

戊辰戦争をくぐりぬけた刀

8月31日(土)～11月1日(金)

罫(わな)―栗城弥平民具コレクション

9月6日(金)～11月27日(水)

斎藤一と会津

9月14日(土)～9月23日(月・祝)

いわきの石炭をつくった植物たち

9月14日(土)～10月18日(金)

相馬藩主の御料理番―魚や鳥を調理する作法

9月14日(土)～11月17日(日)

講座・実演 ★は要申込

【館長講座】(申込不要、無料、講堂)

「東北の文学者たち」

④特別編「徳一」7月19日(金)13時30分～15時

⑤「柳田国男」8月16日(金)13時30分～14時30分

⑥「武田久吉」9月20日(金)13時30分～14時30分

講師：赤坂憲雄(当館館長)

特別講師：玄侑宗久師(小説家/僧侶)④のみ

【民俗講座】

部門展示室リニューール記念講座

③「雪国・会津のまつり」(申込不要、無料、講堂 ※終了後に展示解説会、解説会参加には要常設展チケット)

7月7日(日)13時30分～15時
講師：大里正樹(当館学芸員)
★④「雪国・会津の食文化」エゴの不思議!?」

8月4日(日)13時30分～15時

講師：江川トヨ子(当館学芸員)

【考古学講座】

★縄文土器をつくろう」

7月27日(土)28日(日)10時～15時

講師：高橋満、山本俊(当館学芸員)

【自然史講座】

「化石博士の発掘最前線」(申込不要、無料、講堂)

8月12日(月・祝)13時30分～15時

講師：猪瀬弘瑛(当館学芸員)

【歴史講座】

「福島再発見！古文書講座」(3回連続)

①「近代編」8月24日(土)13時30分～15時

講師：栗原祐斗(当館学芸員)

②「近世編」9月28日(土)13時30分～15時

講師：阿部綾子(当館学芸員)

【防災講座】

「三二 防災講座

「楽しいそなえ」(申込不要、無料、エントランスホール)

9月1日(日)13時30分～14時30分

講師：当館学芸員

【実演】

「大塚相馬焼の絵付け」

7月21日(日)13時30分～15時

講師：山田慎一氏(伝承技術保持者)

【実技講座】

★縄文の編み組みを再現しよう」

8月25日(日)13時30分～15時

講師：國井秀紀氏(福島県文化振興財団)

★「唐人和風をつくろう」

9月22日(日)13時30分～15時

講師：齋藤誠一氏(伝承技術保持者)

(要申込、定員15名、500円、体験学習室)

(要申込、定員15名、無料、体験学習室)

(要申込、定員15名、無料、体験学習室)

(要申込、定員15名、無料、体験学習室)

(要申込、定員15名、無料、体験学習室)

(要申込、定員15名、無料、体験学習室)

(要申込、定員15名、無料、体験学習室)

(要申込、定員15名、無料、体験学習室)

(要申込、定員15名、無料、体験学習室)

(要申込、定員15名、無料、体験学習室)

ミュージアムイベント ★は要申込

「会津磐梯山・市民盆踊り」(申込不要、無料、前庭)

8月15日(木)19時～20時30分

出演：会津磐梯山盆踊り保存会のみなさん

★夏休みナイティミュージアム

8月24日(土)17時30分～18時30分

講師：当館学芸員

★「Codemini」コンサート

9月16日(月・祝)13時30分～15時

出演：会津室内楽団「アンサンブル・Codemini」のみなさん

その他

★「博物館でも読み聞かせ」

7月13日(土)、8月10日(土)、9月14日(土)

11時～11時30分、14時～14時30分

講師：読み聞かせグループの皆さん

★親子で探検！はくぶつのかんのウラ側

(要申込、各回10組、無料、実習室・バックヤード)

8月3日(土)11時～12時、14時～15時

講師：当館学芸員

「子どもミニミニ博物館」

8月11日(日)～8月18日(日)9時30分～16時30分

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)

(申込不要、無料、体験学習室)